

6 防災施設計画

■ 防災施設計画

・本公園の防災機能に関する整備方針をふまえ、以下のような防災施設を公園内に適宜、配置する。

園路・広場等

- 大勢の避難者の流入が想定される西口広場、及び、賑わい軸（東西軸）東側に対しては、十分な入口幅員を確保。
- 緊急車両対応として、西側道路、及び、賑わい軸（東西軸）に緊急車両用入口を設ける。
- 避難者の滞留スペースとして活用できる平坦な広場（南公園7,000㎡、北公園4,000㎡）を確保するとともに、丘の上にも平坦な広場を確保。

水関連施設

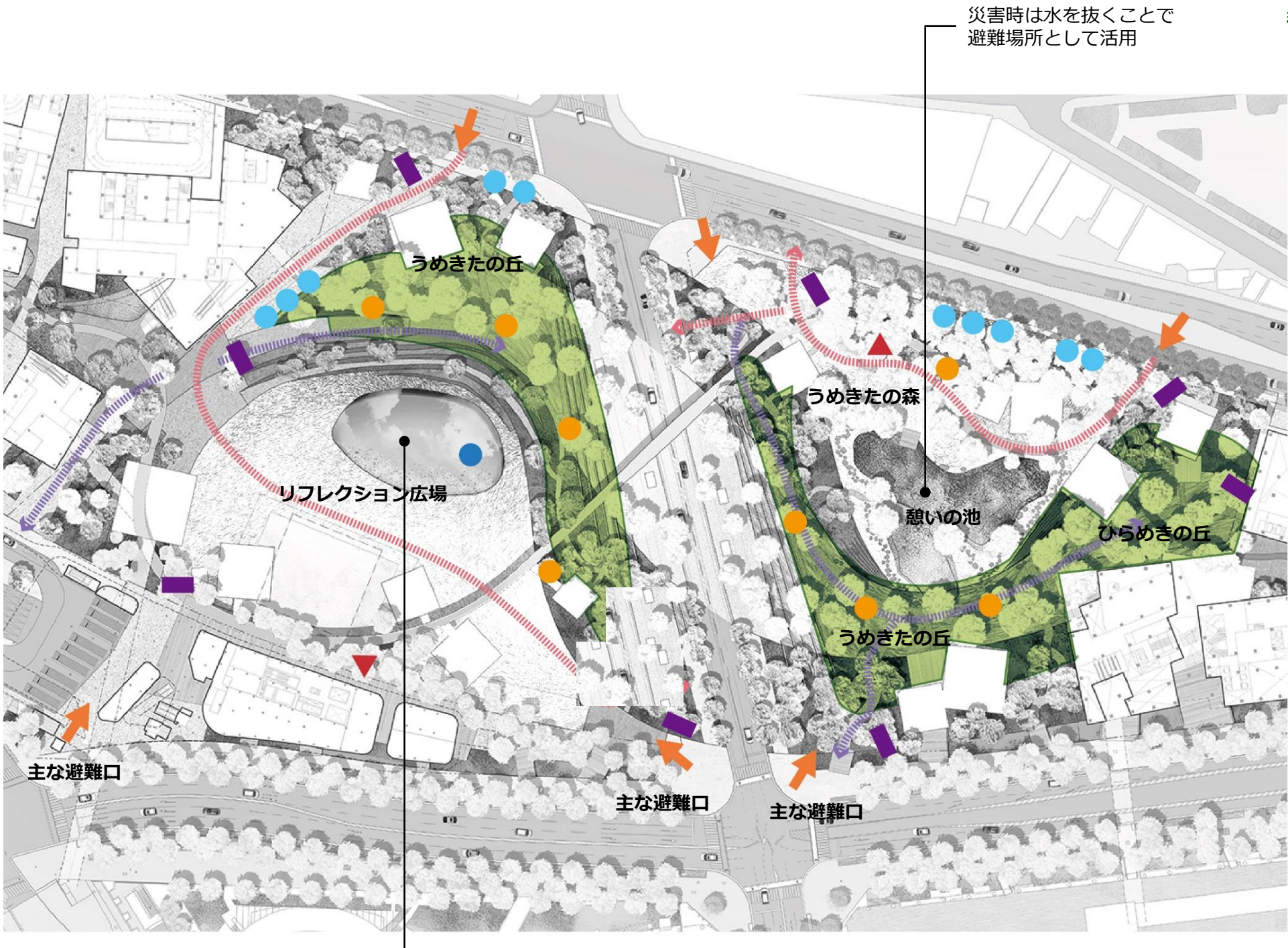
- 南公園・北公園に配置された二つの水景施設については、災害時には避難広場として活用できる仕様とする。
- 南公園のリフレクション水盤は給水を止めることで、避難広場とし仮設水槽を配置
- 北公園の憩いの池は、災害発生時に排水し、すみやかに避難できるスペースを確保するとともに物資集積所として利用



仮設水槽イメージ

備蓄倉庫

- 公園における避難活動、及び、帰宅困難者対応として、南公園、北公園それぞれに防災備蓄倉庫を設ける。



非常用便所

- 災害時の非常用便所として、災害用マンホールトイレを公園内に配置する。
- 女性・男性の利用を分けて配置するとともに、ユニバーサルタイプの非常用便所も併置する計画とする。



非常用便所のユニバーサルタイプイメージ

情報関連施設

- サインはデジタルサイネージとし、非常時の情報源として活用する。また、情報発信については各種の公園施設と連動して行う。
- 防災スピーカーは、音達エリアを確認しつつ適切な位置に配置し、公園内放送施設は、災害時における放送設備として活用する。



防災スピーカーイメージ

- マンホールトイレ ●仮設水槽置場 ▲防災スピーカー
●非常用照明 ■サイン → 主な避難口 ■ TP+2.0m以上の範囲
■■■■■■ 緊急車両用園路 (重荷対応) ■■■■■■ 緊急車両用園路 (軽荷対応)